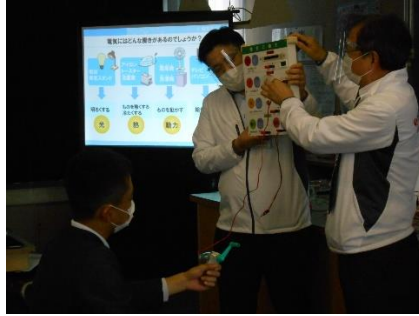


「子ども電気出前教室」の授業を受けました(2月15日)・・・6年生

関西電力送配電・関西電気保安協会からゲストティーチャーをお迎えして、発電の仕方や私たちが電気を使えるようになるまでについて授業をして頂きました。



〔児童の感想〕

○関西だけで地球約4周するくらいの配電線や送電線があることを教えてもらいました。私たちが、こんなに豊かなくらしをできるのは、発電所で電気をつくってくれて家などに電気を届けてくれる人がいるからだと分かりました。また、停電したときには、少しでも早く電気を使えるようにしてくれている人たちがいることも分かりました。安全に電気を届けることに関わっている多くの人に感謝したいと思います。

○私たちがふだん電気を便利に使えているのは、関西電力や関西電気保安協会の人たちのおかげだと思います。私たちが電気を使えば使うほど、電気をつくる人たちが大変になるし、地球にも悪い影響がでることが分かったので、きちんと節約しようと思いました。

○電気は、いろいろな場所で使われているから、年がたつごとに電気を使う量が増えてきていることが分かりました。この学習で、電気は大切なものだから大切にしようと思いました。

○ぼくは、家で電気をふつうに使っているけど、家に運ばれるまでにいろいろな工程があるので大変なことだと思います。だから、電気を大切に使いようと思いました。

○送電線には、電圧が50万ボルトもかかっていると知っておどろきました。また、電気は1秒間に約30万キロメートル(地球約7周半)も動いているそうなので、すごいなと思いました。でも、そんなに速い電気が家や身の回りにあるものをどのように動かしているのか不思議に思いました。

○たくさんのお話の中で一番おどろいたのは、私は夜が一番電気を使っていると思っていたけど、昼に仕事をしている人がたくさんいるから昼が一番電気を使っているということです。これからは、今日学んだことを思い出して、電気を節約して大切に使いたいです。

○ふだんさわれない電線をさわったり、実際に手回し発電機で発電したりできて、とても楽しかったです。災害などで発電所が止まって停電してしまうと、電気を使う生活できなくなるから、これからは電気を大切に使いたいです。

○自分で手回し発電機で発電してみると、豆電球と発光ダイオードではハンドルを回す手ごたえがちがうことに気がつきました。豆電球の方が手ごたえは大きく、発光ダイオードは手ごたえが小さくても明るいことが分かりました。

○私は、この授業をずっと楽しみにしていました。理科の担当の先生から教わったことを生かしながら学習に取り組むことができました。この授業で教わった電気の節約の仕方を家で伝えると、「なるほど」と言ってくれたのでうれしかったです。

○電気についての説明やクイズ、また実験もさせてもらったので、知らなかったことや疑問だったことが、よく分かりました。